

茂木高等学校PTA

進路だより

第85号

発行

茂木高等学校PTA

編集

茂木高等学校PTA

進路指導委員会

未来への
第一歩をとる

校長 保坂光雄

青葉を吹き渡る快い風が吹く季節となりました。保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。私は、この4月に茂木高校の校長として着任いたしました、保坂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

進路だよりの書面をお借りして、昨年度の進路実績、進路実現に向けた心構え、そして保護者の皆様へのお願いなどをお伝えさせていただきたいと思っております。

今春、155名の卒業生が本校を巣立っていきました。その卒業生たちの進路について振り返ってみますと、生徒たちは個々の努力を实らせ、国公立大学に、地元宇都宮大学、山形大学にそれぞれ4名ずつ、北見工業大学に2名、その他、釧路公立大学、北海道教育大学旭川校、青森公立大学、秋田県立大学、茨城大学、

千葉大学、上越教育大学、琉球大学にそれぞれ1名ずつの延べ18名が合格（16名が進学）、そして、私立四年制大学には、地元の国際医療福祉大学、白鷗大学をはじめ、日本大学、東洋大学、明治学院大学など、延べ116名が合格（85名が進学）することができました。また、短大、専門学校等を目指した生徒も延べ50名が合格（46名が進学）し、町役場や県内の有力企業等へ就職を果たした5名など、学年全体としても大いに成果をあげてくれたものと感じております。特に困難を極めたコロナ禍を乗り越え、目標を達成した彼らの姿勢には敬意を表するとともに、御支援いただきました感謝申し上げます。彼らの成果は、日々の努力と周囲からの御支援の賜物であると思

実感しております。

ここで、昨年度からの大学入試改革について少し触れたいと思います。昨年度は新教育課程に対応した大学入試が初年度を迎え、これまでの試験内容や出題傾向にやや変化が見られました。とはいえ思考力、判断力、表現力を問うといった基本的な考え方のもと、「日常を意識した場面設定」、「複数資料の提示」といった共通テスト特有の出題傾向は継続していただようです。特徴として、国語では初めてグラフが出題され、文章読解力だけでなくグラフを読み取る力が必要となりました。また、特に注目された新たな科目「情報I」では、知識を直接問う問題は少なく、設問文の説明や条件を読み取り、丁寧に考えることで正解にたどり着ける問題が多かった印象です。プログラミングやデータ分析、情報セキュリティといった現代社会で求められる知識やスキルが問われ、例えば「データの適切な活用方法」や「デジタル署名の役割」を題材とした問題などが出題されていきました。

今年度も、単なる知識の暗記ではなく、柔軟な思考と情報の統合能力が求められることが予想されるため、各科目において応用力を養うための指導をさらに強化する必要がありますと考えています。また、新たな入試に伴い、生徒たちが直面する試験内容や出題傾向の変化等に対応するため、我々教職員も常に最新の情報を収集、分析し、指導に取り入れる努力を続けていきたいと思っています。

そういった中、生徒一人ひとりが希望する進路を実現するためには、日々の努力はもちろんですが、それに対する心構えが重要となつてきます。主なものを挙げてみましょう。

一つは、目標を明確にすることです。進学を考えている生徒は、自分が学びたい分野をできるだけ早期に絞り込むとともに具体的な大学等の学校選びを進めることで学習の方向性が明確になると考えます。就職希望者はしっかりと自己分析を行うことが大切です。自分の強みや興味、価値観を理解することで、適した職業や業界を見つめる手助けになると考えます。短期的、長期的な目標を設定し、それに向けて必要なスキルや経験を積みキャリアプランを立てることが重要です。

そして次に、タイムマネジメントいわゆる時間管理を徹

底すること、これも大変重要です。予習や復習、課題やテスト勉強、部活動、友人との交流、家族との時間など、本当にやるべきことが多い中で、自分にとって必要なことを見極めながら、限られた時間を効率的に活用するためのスケジュール管理をしていくことが鍵となります。

そしてさらに、困難に立ち向かう姿勢を持つということです。目の前のどんな進路を設定しようとも、そこには必ず受験という現実があります。模試で思うような結果が出ない、面接への対応が思うようにいかないなど、試験対策への壁に直面したとき、諦めずに粘り強く努力を続けることができるかがもう一つの鍵といえるでしょう。受験に立ち向かうためのメンタルの充実を図ること、これも重要な要素です。

進路実現のためには、学校だけでなく、御家族の協力も不可欠です。私は常々、家族の支えがあつてこそその進路実現であると考えています。進路選択は高校生にとって人生の大きな転機です。この時期に適切なサポートを受けることで、子どもたちは自信を持って自分の将来を見据えることができます。

家庭の中では、温かい励ましや理解は、彼らの自己肯定感を高め、挑戦する勇気を与えます。

また、進路選択には多くの

情報収集が必要です。保護者の皆様も子どもたちとともに積極的に情報を収集、あるいは提供し、一緒に調べることで、子どもたちはより多くの選択肢を知ることができ、保護者の皆様は子どもの進路選択の具体的なイメージを持つことができます。

さらに、家族の協力は精神的な支えとしても重要です。進路選択に伴う不安やストレスは、子どもたちを感じるなという方が難しく、不安だらけといつてもよいでしょう。そんな時こそ家族が寄り添い、話を聞いてくれることで、子どもたちは安心感を得ることができ、家族のコミュニケーションを大切に、子どもたちの意見や気持ちを尊重する姿勢で接していただきたいと思います。

家族の協力は子どもたちの成長を見守る大切な役割を果たします。進路選択は一時的なものではなく、長い人生の中での一歩です。家族が一緒に進むことで、子どもたちは自分の道を自信を持って進むことができるでしょう。

結びになりますが、本校の生徒たちが輝かしい未来へと踏み出せるよう、本校教職員一同、保護者の皆様と共に歩んで参りたいと思っております。今後ともどうぞ本校教育への御理解と御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

進路の状況より

◆令和6年度進路状況

() 内は実進学・就職数

進学						就職	
国公立大学	私立大学	短期大学	医療系専門学校	職業訓練機関	その他専門学校	民間企業	公務員
18 (16)	116 (85)	9 (9)	16 (16)	4 (4)	21 (17)	4 (4)	1 (1)

◆主な合格先

国公立大学		
北見工業大学	工学部	地域未来デザイン工学科
北見工業大学	工学部	地域環境工学科
創価大学	経済学部	経済学科
北海道教育大学旭川校	教育学部	芸術保健体育専攻音楽分野
青森公立大学	経営経済学部	経営学科
秋田県立大学	システム科学技術学部	知能メカトロニクス学科
山形大学	工学部	システム創成(フレックス)
山形大学	工学部	システム創成工学科
山形大学	工学部	機械工学科
山形大学	工学部	システム創成(フレックス)
茨城大学	工学部	電気電子システム工学科
宇都宮大学	共同教育学部	教育人間科学系
宇都宮大学	共同教育学部	人文社会系
宇都宮大学	地域デザイン科学部	コミュニティデザイン
宇都宮大学	データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科
千葉大学	教育学部	小学校コース
上越教育大学	学校教育学部	初等教育教員養成課程
琉球大学	理学部	生物学科

栃木県内の主な大学		
足利大学	工学部	創生工学科
国際医療福祉大学	保健医療学部	理学療法学科
国際医療福祉大学	保健医療学部	放射線・情報科学科
国際医療福祉大学	保健医療学部	看護学科
作新学院大学	経営学部	経営学科
帝京大学	理工学部	総合理工学科
帝京大学	医療技術学部	柔道整復師科
白鷗大学	教育学部	発達科学科
白鷗大学	経営学部	経営学科
白鷗大学	法学部	法律学科
文星芸術大学	美術学部	美術学科

県外の主な大学		
日本大学	商学部	商学科
東洋大学	総合情報学部	システム情報専攻
武蔵大学	経済学部	経済学科
明治学院大学	国際学部	国際学科
常盤大学	人間科学部	心理学科
流通経済大学	経済学部	経済学科
獨協大学	外国語学部	ドイツ語学科
日本工業大学	建築学部	建築学・建築コース
文教大学	文学部	中国語・中国文学科
秀明大学	学校教育学部	国語専修
千葉工業大学	創造工学部	デザイン科学科
桜美林大学	リベラルアーツ学類	社会領域
共立女子大学	看護学部	看護学科
工学院大学	工学部	機械工学科
実践女子大学	人間社会学部	人間社会学科
大東文化大学	外国語学部	英語学科
東京家政大学	子ども支援	子ども支援
東京経済大学	経済学部	経済学科
東京国際大学	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科
東京農業大学	地域環境科学部	造園科学科
二松学舎大学	文学部	歴史文化学科
日本獣医生命科学大学	獣医学部	獣医保健看護学科
日本体育大学	体育学部	体育学科
文教大学	教育学部	発達教育課程児童心理教育専修

主な短期大学	
作新学院大学女子短期大学部	幼児教育科
宇都宮短期大学	食物栄養学科
国際学院大学北海道短期大学部	国際語文学科
山形県立米沢女子短期大学	アート・デザイン科

主な医療系専門学校	
宇都宮歯科衛生士専門学校	歯科衛生
国際デザイン看護専門学校	看護学科
衛生会学舎歯科看護専門学校	看護学科
栃木医療センター附属看護専門学校	看護学科
獨協医科大学附属看護専門学校	看護学科

主な就職先	
益子町役場	
日産自動車株式会社	
株式会社S&A(株) 航空宇宙センター	
キャンパ株式会社	
カルビー株式会社	

本校の令和6年度の進路状況は、進学95%、就職3%でした。校種別で見ると、国公立大合格者が18名、私立大も116名が合格を果たすことができ、国公立大、私立大とも昨年より微増する結果となりました。専門学校進学者は全体の21%で、その約半数の生徒が医療系を選択しています。また、職業能力開発機構等は全体の3%となっています。就職においては、民間企業希望者は、売り手市場のおかげもあり、全員が1回目の試験で内定をいただくことができました。

また。公務員希望者は益子町役場に合格を果たすことができました。令和6年度は65%の生徒が4年制大学に入学しており、4年制大学入気が顕著となった年でした。

【本年度の特徴】

国公立大学：述べ人数で18名の合格者が出ました。内訳は国立が16名、公立が2名で、文系が6名、理系が12名でした。入試別では一般が11名、総合型が4名、推薦が3名でした。例年と比べると、一般選

抜や総合型選抜で共通テストの得点を利用し、合格を果たした生徒の割合が多いのが特徴です。国公立大学受験組の中には、難関校である千葉大学に一般選抜で合格する生徒もいました。入学当初から学力向上への意識が高く、学修室やゆずも塾を積極的に活用し、着実に努力を重ねた生徒です。本人の努力、そして学校の指導体制がうまく融合し、本校の課題である「難関大学への合格者を出す」という目標を令和6年度も達成することができました。また、4名の生徒が宇都宮大学に合格を果たすことができました。内訳は一般選抜2名、公募推薦1名、総合型1名です。特に推薦や、総合型においては、基礎的な学力に加え、進路目

標に基づく校外活動や課題研究に真剣に取り組む、実績を積み重ねてきたことが勝因であると考えられます。他大学においても、北海道から沖縄までを視野に入れ、入念に出願校を検討し、希望の学部学科に合格を果たしています。

私立大学：今年度は、指定校推薦や公募推薦の割合が減り、総合型選抜や一般選抜で受験をし、進路を実現させた生徒が増えたのが特徴でした。総合型選抜では、高校で行った探究活動をベースにプレゼンを行い、日本大学や東洋大学などの難関校に合格を果たした生徒もいました。近年の傾向として、大学側も受験生の減少が進む中、早期に一定数の学生を確保したい

短期大学：今年度は9名の生徒が短大に進学することになりました。例年だと指定校推薦や公募推薦で内定する割合

が、本校では医療系専門学校の人気が高く、今年度も同様の結果となりました。専門学校は特定の分野のスキル向上

が多くなっていますが、今年度については4年制大学と平行して受験したケースが多くなりました。学科についても、例年多い保育系は今年度は少なく、文学、芸術、栄養など希望は多岐に渡りました。将来的に4年制大学への編入を考えた選択も見受けられました。

県内よりも県外に進学した生徒が多かったのも今年度の特徴になります。専門学校：希望者の大半は推薦入試やAO入試によって進学先を決定しています。専門学校の内容は多岐に渡りますが、本校では医療系専門学校の

や資格取得を目的としており、その目標達成にむけ各学校が特色ある教育を行っています。入試は面接試験が大半ですが、医療系は推薦でも学力試験や小論文を課す学校が多く、不合格となるケースも多々あるので注意が必要です。年により人気となる学校や学科が変化するので、出願状況の確認なども随時必要となります。

就職・公務員：民間企業は、4名の生徒が全員内定となりました。輸出関連企業を中心に業績が良い年で、学生優位の売り手市場も手伝い、全員が1次募集で内定を勝ち取ることができました。製造、運輸、建設業などでは2次募集を継続する企業も多くありました。製造系の求人は多く、事務職への求人は少ない状況は継続しており、希望する職種によっては幹旋が難しい状況もありました。公務員では、益子町役場に合格を果たした生徒がいる一方で、専門学校へ切り換え、再チャレンジを目指す生徒もいました。

公務員試験の難易度は高いものが多く、不合格時の対応として、専門学校進学や民間企業の2次募集で就職するなどセットで物事を考えていく必要があります。

3年生保護者のページ

3学年正担任は昨年と変更はありません。副担任に新しい先生をお迎えし、フレッシュな顔ぶれとなりました。新たな学年団となり、お子様の進路実現に向けて一致団結して臨みたいと思います。よろしくお願いたします。

今年度は若干のクラス替えはありましたが、大きな環境の変化はなく、学年全体として

いよいよ最高学年となり、進路実現に向けた勝負の年です。4月の登校日には、進路指導部長から、良い出会いをするために、できることは

はじめに

いよいよ最高学年となり、進路実現に向けた勝負の年です。4月の登校日には、進路指導部長から、良い出会いをするために、できることはやったと心の底から思える努力をしようという話がありました。しかし、面談をしていると、やっているというものの、「受験生として」頑張っているか心配な生徒もいます。就職・進学ともに将来を決める試験の日はずいぶん近いです。試験当日、あの時頑張っておけばよかったと後悔することのないよう今から頑張ってください。

また、高校3年生は18歳になると同時に成年になります。いよいよ社会に出る準備の最終段階です。中学生の頃

コロナが流行した影響かもしれません、対人関係の築き方に幼さが残っています。集団の中の一員として他者に配慮した言動を心がけ、自分の意思で主体的に判断できる

「大人」になることを期待しています。

大学進学

学習指導要領の変更にとっても、令和7年度大学入学共通テストから出題科目や内容が変わりました。新たに「情報」が加わり、試験時間の増加や科目の変更などがおこなわれました。戸惑うこともあるかもしれませんが、新しい入試だと過度に恐れることなく、着実に受験に向けた勉強を進めることが大切です。ただ、新教科や科目については過去問がないため、授業や模試での演習がより重要になります。

情報に関しては国立大学でほとんどの大学が必須としており、情報を利用しないとする大学はごく一部にとどまっています。公立大では「必須」、「選択」、「利用しない」など様々であり、各大学のウェブサイトで順次公開されています。

また、受験形態には「一般選抜」、「学校推薦型選抜」、「総合選抜」があります。一般選抜は学力で勝負するスタイル、学校推薦型選抜は評定平均値や高校生活での取り組みなどが評価され、面接や小論文、実技試験などが実施されます。総合選抜では、個人

面接、グループディスカッション、口頭試問、プレゼンテーション、小論文などを通して、受験生の人物が評価されます。それぞれの特徴を理解し、入試に向けての計画を考えて受験の準備をする必要があります。推薦入試だからといって必ず合格するとは限りませんので、一般入試に向けた準備もしなければなりません。

大学受験には、冷静な選択と判断が求められます。そのようとき、情報こそが武器になります。多くの情報の中で正しく、かつ自分が必要としている情報を取捨選択し、冷静に判断しなければなりません。入試方式や入試日、入

面接、グループディスカッション、口頭試問、プレゼンテーション、小論文などを通して、受験生の人物が評価されます。それぞれの特徴を理解し、入試に向けての計画を考えて受験の準備をする必要があります。推薦入試だからといって必ず合格するとは限りませんので、一般入試に向けた準備もしなければなりません。

専門学校

学手続き締切日、学費などについては早めに情報収集をし、親子で情報共有してください。

専門学校には、一定の基準を満たすことで公的な認可を受けている「認可校」と、受けていない「無認可校」があります。それぞれにメリットとデメリットがあるので志望校を選ぶときには注意してください。無認可校の場合は学歴として認められないため、専門学校卒とはならず、高卒のままになります。また、日本学生支援機構による奨学金を受けられなかったり、学割や通学定期券を利用できなかったりといった違いもありますので、よくご確認ください。専門学校の入試も様々であり、総合型選抜（AO入試）のエントリーは早いところだと6月ころから始まりま

すが、焦りからよく比較、検討せずに早期に決めようとして、担任や進路指導担当に早めに相談してください。

就職・公務員

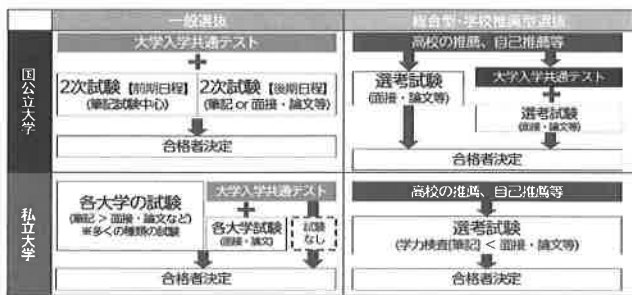
民間企業への就職の場合、7月1日から求人票が公開され、1学期から夏休みにかけて

クラス	正担任	副担任
1組	海老澤香乃（英語）	清宮 悠磨（数学）
2組	神永健一郎（数学）	菊池 柚里（理科）
3組	○水沼 誠之（保健）	國嶋 昭子（家庭）
4組	◎戸上 芳子（地公）	森戸 滋（商業）
学年付	大森 克也（理科） 木村 真也（英語） 直井 康幸（地公）	高野 嘉子（国語） 根本 麻希（保健）



学年主任
戸上 芳子

大学入試に向けたスケジュール



て入社試験への準備を進めていきます。職業観についてはご家庭でよく話し合っていた方がいいと思います。内定した場合には、絶対に取り消しはできません。企業選択は慎重にお願いします。

公務員試験は9月から始まり、試験日程が重ならないければ複数の試験にチャレンジできます。ただし希望者も多いので、大学受験同様に日頃の学習に努力するとともに、試験に向けての早めの準備が必要になります。公務員の種類によって受付期間、試験日が異なりますので、各要項を確認し、受験に向けた計画を立てましょう。

最後に

この1年間はお子様が将来に向けた決定を次々とおこなっていき重要な年です。保護者の皆様にとりまして今までの不安や緊張を覚える方がいるかもしれません。受験生にとっては保護者の声かけと見守りが大きな力となります。大学生が選んだ「受験勉強の時期、保護者にしてもらってうれしかったこと」ランキングでは、1位「日々の食事や差し入れ」、2位「いつも通りに接してくれた」、3位「入試スケジュールの管理や出願などの手続き」だった

たそうです。実務的な手助けからメンタル面での支援まで保護者の皆様も大変になることもありますが、お子様の進路実現に向けてサポートをお願いします。受験は団体戦と言いますが、戦う選手は生徒だけでなく、家族や私たち

2年生保護者のページ

ご覧の学年団で受け持たせていただきます。1組理系

クラス	正担任	副担任
1組	櫻井 智也(理科)	石田 莉枝(家庭)
2組	林 直樹(英語)	高橋 丈(地公)
3組	○藤野 正悟(数学)	片岡 辰哉(体育)
4組	相川 美咲(国語)	◎渡邊 聖子(音楽)
学年付	佐山 浩行(体育)	田邊 静香(数学)
	磯 顕(英語)	米村 直人(国語)
	小林 美穂(養護)	(石野 雄基(国語))



学年主任
渡邊 聖子

はじめに

2組文理混合(選抜)、3組文理混合、4組文系クラスです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

早いもので、高校に入学して1年が過ぎました。新たな気持ちでスタートを切ったと思いますが、進級にあたりクラス替えもあり、新しい環境に慣れるまで時間がかかるかもしれません。引き続きご家庭でもお子様の様子を見守っていただきたいと思います。

2年生は

学年目標の一つ目は、「中堅学年としての自覚を持ち、

規律ある生活をしよう」です。2年生は、学校の中心学年として、生徒会活動・部活動・学校行事などにおいて全体を引っ張っていく年です。また、目的意識を持って有意義に過ごしたか、そうでないかで大きく「差のつく学年」で、この1年をどう過ごすかで今後の人生を方向付ける重要な時期となります。

学習について

学年目標の二つ目は、「日々の学習を通じて自己を磨き、人間の成長を図ろう」です。1年次は、学習の基本は授業にあるので、授業を大切にしたいと書かせていただきました。2年次も同様です。「予習→授業→復習」のサイクルは確立させることができたでしょうか。予習をすることによってわからない点を明確にし、授業で理解し、復習することによって授業中の理解を定着させることができます。さらに復習は1回だけでなく、一定期間をおいて繰り返すことで長期の記憶とすること、つまりは「身に付いた」状態にすることができま

す。引き続きご家庭では、予習・復習のための家庭学習の習慣化をお手伝いいただければと思います。

()は人数

	平日		休日	
	前回(1年9月)	今回(1年3月)	前回	今回
ほとんどしない	23.0 (27)	34.7 (42)	10.3 (12)	18.5 (22)
30分	24.8 (29)	28.9 (35)	10.3 (12)	11.8 (14)
1時間	24.8 (29)	10.7 (13)	20.5 (24)	15.1 (18)
1時間30分	11.1 (13)	12.4 (15)	9.4 (11)	10.9 (13)
2時間	11.1 (13)	10.7 (13)	20.5 (24)	23.5 (28)
3時間	4.3 (5)	1.7 (2)	20.5 (24)	10.1 (12)
4時間以上	0.9 (1)	0.8 (1)	8.5 (10)	10.1 (12)

右の表は3月に行われたスタディーサポーターの結果です。残念ながら平日ほとんど学習しない生徒が増加し、全体の4分の3近い生徒が1時間以下しか学習していない結果となっています。休日の学習時間も全体的に減少しています。

高校の授業についていくためには、学年11時間、国公立&中堅以上の私大に入るためには学年12時間の学習時間が必要です。2学年からは国数英の難易度も上がり、地歴公民・理科の学習も本格的に始まります。進級を機にもう一度学習習慣の定着と、授業・教科書中心の学習観を育

ていただければと思います。また、英語検定や漢字検定、数学検定など様々な検定試験も校内で実施しております。是非積極的にご活用ください。

進路について

学年目標の三つ目は、「真摯に将来を見つめ、進路目標に向かって努力しよう」です。後悔のない進路実現をするために大切なのが「情報収集」です。「合格」を勝ち取るため、あるいは、入ってから「こんなはずではなかった」と後悔しないために、進学したい学校(あるいは就職したい会社)のことをどれだけ調べつくすことができたのかにかかっていると言えます。例えば、大学では、三つの方針を公開することが定められています。それは①卒業するときに、どのような力が身につく、どのような人材を育てていくのか、②そのためにどのような教育をするのか、③だからこのような準備ができている生徒に入学して欲しいです。これを把握しておくことで、高校時代にどのようなことをすべきなのか、わかるのではないのでしょうか。オープンキャンパスなどに参加す

ることで、このような情報を得ることが出来ます。どんな参加してみると良いでしょうか。就職も同様です。どのような仕事をしたいのか、そのために必要な能力は何か、それはどのように身につけるのか、把握することが大切です。

また学費をチェックしておくことも保護者の皆様の大切な役目です。進学した場合、入学してからの費用はもちろんですが、それ以前の出願や受験のための費用もかかります。奨学金も、日本学生支援機構だけでなく、各大学や地方自治体で設けているものもあります。各家庭で受験や進学に向けた資金計画について再確認していただけたらと思います。

最後に

4月、生徒と各担任で面談を行いました。進路についてまだ具体的に決まっていな人が多数います。《どうしてもやりたいこと》を明確に持つことが、時間を有効に使ううえで最強です。早めに希望進路を明確化させ、「差のつく学年」の1年間をお子様が有意義に過ごせるよう2学年団全員でサポートしていきます。ご協力お願いいたします。

1年生保護者のページ

ご覧の学年団です。1年間よろしく願っています。

クラス	正担任	副担任
1組	○堀田 嵩洋 (地公)	渡邊万樹代 (英語)
2組	相ヶ瀬裕太 (英語)	北原あゆみ (数学)
3組	山田 真由 (国語)	◎加藤このみ (理科)
4組	木村 愛 (理科)	大山 健司 (国語)
学年付	清水 聡 (保体) 田村あずさ (美術)	大木 茂富 (数学) 羽石美枝子 (実教)



学年主任
加藤このみ

はじめに

暖かな春の日差しと桜の花びらに囲まれながらの入学式から早くも1ヶ月が過ぎようとしています。まだまだ緊張の様子も見られるものの、少しずつ慣れてきている様子も感じることが出来ます。高校生活の3年間において

は、身体的な部分よりも内面的な部分における成長が著しい時期であり、幼少期に比べて成長の度合いを確認することが難しく、保護者のみなさまもお子様自身も不安になることもあるかと思いますが、本校では、様々な取り組みを通して自身の内面の成長を確認し、自信を持って次の一歩に進んでいけるよう支援してまいりたいと思います。ご家庭におかれましてもお子様の成長の可能性を信じて見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

生活について

学年目標の一番目に「基本的生活習慣を身につけ、高校生としてふさわしい言動を実践しよう」とあります。生活のリズムが大きく変わり、疲れもたまってくる時期と思いますが、まずは「無遅刻・無早退・無欠席」となるよう心掛けてください。そのためには、起床・就寝のリズムを整えて、時間と健康を自己管理できるようにすることが大切です。その際に特に注意してほしいことが、スマホとの付

き合い方です。人間の脳の特性上、スマホが近くにあるだけで集中力は低下し、長時間使用すれば睡眠障害やうつを引き起こす危険性が高まるといわれています。便利な道具ではありますが、夜9時以降は電源をオフにする、や、使用場所を制限する、など使い方を家庭で話し合っていたいただければと思います。

学習について

学年目標の二番目は「授業を大切にし、主体的に学習に取り組もう」です。入学式の時に目にした方も多いと思いますが、本校はスローガンとして「From Chinese To Chinese」授業を大切にしています。授業の基本は授業であるので、授業を大切にしたいと思っています。

ただ、高校の授業は中学に比べると内容も高度になり、学習進度も速くなります。毎日の学習の積み重ねが重要になってきます。そこで大切になってくるのが「予習→授業→復習」のサイクルを確立することです。予習をすることによってわからない点を明確にし、授業で理解し、復習することによって授業中の理解を定着させることができます。さらに復習は1回だけでなく、一定期間をおいて繰り返すことで長期の記憶とすること、つまりは「身に付いた」状態にすることが出来ます。ご家庭では、予習・復習のための家庭学習の習慣化をお手伝いいただければと思います。毎日決まった時間に机に向かう習慣をつけること、そして特別な日(今日は疲れているから勉強しなくてもいい日)を作らないことが大切です。最初は大変かもしれませんが、将来の進路実現に必要な学力を身につけるために、習慣づけをお願いします。

進路について

学年目標の三番目が「進路の目標を見つけ、その実現のため努力しよう」です。入学したばかりなのに、もう将来の進路?とお考えになられるかもしれません。スタートは早ければ早いほど有利です。1年生では、必修科目を中心に学習するので、普通科の高校とほとんど同じですが、本校は総合学科のため2年次以降それぞれの進路に応じて様々な科目を選択できるようになります。自分が将来どんな職業に就きたいのか、そのためにはどのようなルートが考えられるのか、自分のやりたいこと、興味のあることを中心に職業や進路先に関する情報を集め、それに対応した科目を選択することで他校生よりも先んずることが出来ます。

また、1学年で実施する「産業社会と人間」という科目で「自己理解」「社会確認」「進路研究」などを扱い、自己の生き方や将来の進路を考えるための学習を行うことが出来ます。「産業社会と人間」は毎週水曜日に実施しております。ご家庭においても、お子様と将来について話をする機会にいただければと思います。

最後に

進学、就職についてはつきり決まっていな人が多いと思います。進学といっても、大学なのか、短期大学なのか、専門学校なのかで必要な学力や準備も大きく変わってきます。いざ、進路先を決めたときに、合格、内定をもらえるような十分な学力や準備を身に付けられるように、私たち1学年団も、進路実現に向けて全力でサポートしていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

茂木高校公営塾
「ゆずも塾」VVAもてぎ」の概要

茂木町が運営する公営塾「ゆずも塾」VVAもてぎ」について紹介します。

ゆずも塾は校内理科教室で、平日の放課後から20時30分まで開講しています。塾には茂木町に雇用されたスタッフが常駐し、「勉強も、青春も、ゆずも塾」を標語に、課題の質問対応、大学受験に向けた学習計画の提案、地域と連携したキャリア教育の提供など、さまざまな学びを支援しています。昨年度は約220名の生徒が在籍し、塾で教科学

習や探究学習に取り組ましました。今回は、昨年度本校を卒業した古内小夏さんに、3年間塾を利用した感想を聞いてみました。

「ゆずも塾は、1年生の時から利用していました。入塾したきっかけは、両親の送迎を待つ場所を探していた、塾を利用してみたら居心地が良かったためです。塾では、ただ勉強するだけではなく、友人と雑談をしたり、スタッフの方と将来について相談したりできました。特に、友人と雑談する中で『茂木町の冬の夜をイルミネーションで照らして、高校生が青春できる場所を作りたい!』というアイデアが生まれ、1年間かけて企画を実現したことは、高校生活で一番の思い出になりました。活動の中で『茂木町の魅力を発信して、茂木町を元気にし

たい』という夢が生まれ、宇都宮大学地域デザイン科学部に進学し地域創生の方法を学びたいという思いが生まれました。毎日放課後に塾で学校課題に取り組む習慣ができていたため、「受験勉強」を始めようという特別な意識をすることなく、日常の学習習慣の中で志望校に合格する学力を定着させることができました。茂木高校を卒業した今、今度は大学生として、後輩の学びを支えていきたいです。」



ゆずも塾は、学校の中にありながらも、クラスの雰囲気とは異なる『第三の居場所』として機能しています。日々30名前後の生徒が塾を利用しますが、塾での活動は生徒の自主性に委ねられており、宿題に取り組む生徒、受験勉強に取り組む生徒、課外活動に取り組む生徒など、さまざまな過ごし方があります。塾は無料で開講していますので、ぜひ活用ください。



た。2025年度 ゆずも塾年間計画 (予定)

年	月	活動	【全】全学年対象	【○】○年生対象
2025	4月	【全】入塾説明会 【1,2】 ゆずも塾探究「茂木灯りの散歩道」参加者募集 【3】 受験生支援 【全】 第1回 英検一次試験対策講座	【開始】	
	5月	【全】 春季 学習計画提案面談 【全】 中間試験に向けた勉強会		
	6月	【全】 第1回 英検二次試験対策講座 【全】 期末試験に向けた勉強会	【開始】	
	7月	【3】 国立大入試に向けた個別指導 【全】 夏季 学習計画提案面談 【1,2】 ゆずも学(課題研究)個別支援 【3】 ゆずも塾夏季ゼミ(基礎定着講座)	【開始】	
	8月	【全】 ゆずも塾日帰り合宿 【全】 出張ゆずも塾 【全】 ゆずも塾OBOGホームカミング(大学生・社会人と話す会) 【全】 第2回 英検一次試験対策講座 【3】 推薦入試に向けた個別指導	【開始】	
	9月	【全】 秋季 学習計画提案面談 【3】 ゆずも塾秋季ゼミ(共テ・記述対策講座) 【全】 中間試験に向けた勉強会	【開始】	
	10月	【全】 第2回 英検二次試験対策講座	【開始】	
	11月	【全】 ゆずも塾周年イベント 【全】 期末試験に向けた勉強会		
	12月	【全】 冬季学習計画提案面談 【1,2】 ゆずも塾探究「茂木灯りの散歩道」展示 【1,2】 第3回 英検一次試験対策講座 【3】 ゆずも塾冬季ゼミ(共テ対策講座)	【開始】	
	1月	【3】 二次私大入試に向けた個別指導 【3】 学年末試験に向けた勉強会	【開始】	
2026	2月	【1,2】 第3回 英検二次試験対策講座 【1,2】 学年末試験に向けた勉強会 【3】 ゆずも塾卒塾式	【開始】	
	3月	【1,2】 ゆずも塾春季ゼミ(進級前の基礎確認講座)	【開始】	

～ 通年支援 ～
【1,2】 ゆずも塾探究「茂木町人物図鑑」
【全】 進路・職業対話イベント「おしごとトーク」
その他、面談と個別指導を日々実施しています。